

利用者様の日常の様子です。

※写真撮影時のみマスクを外しています

デイケア

デイの敬老会の様子です。職員による出し物、長寿利用者への表彰を行いました。また、全利用者へ長寿祈願の御守りを配りました。



2階

秋祭りでの様子です。皆さん、とても楽しまれました。



3階

レクリエーションの時間に芋を蒸しておやつ時間に食べました。さつまいもが蒸されるまで回想法をしました。さつまいも話をきっかけに秋を感じた時間になりました。



新人紹介

根橋 圭子
(ねはしけいこ)

- ①1階デイケア
- ②介護福祉士
- ③6年前に長野県から愛知県にきました。食べることが大好きなので近隣のお薦めのお店などあれば気軽に声をかけて頂けると嬉しいです。よろしくお願いたします。

- ①部署
- ②職種
- ③自己PR

佐々木 美由紀
(ささきみゆき)

- ①3階
- ②介護福祉士
- ③色々なことがゆっくりで、ご迷惑をかけておりますが皆さんが温かく優しく教えて下さることをとてもありがたく思っています。一生懸命、頑張りますのでよろしくお願いします。

お知らせ

今後は、あおみ通信がホームページに載ります。ホームページでは動画を作成し、載せています。よかったら下記のQRコードから確認してみてください。



・事務室からの案内・

◆介護保険証について

新しい介護保険証が届きましたら、お手数ですが、一階事務室に提示して下さい。

◆利用料金のお支払いについて

利用料金のお支払方法として各金融機関による口座引落しを取り扱っています。ご希望の方は、あおみ事務室までお問合せください。

おしらせ

面会は各階エレベーターホールで行っております。(予約制)ご希望の方は各階スタッフまでお声かけして下さい。

2階利用者【月・火・水・木・金・土】各15分単位
①16時15分～ ②16時40分～

3階利用者【土・日】 各15分単位
①14時00分～ ②14時20分～
③14時40分～



安城更生病院併設
介護老人保健施設あおみ広報誌

あおみ通信
Aomi

2024年1月

86号



施設長あいさつ

施設長 杉浦 真

新年あけましておめでとうございます。
昨年の今頃は新型コロナウイルス感染症によるクラスターの真ただ中でしたが、今年はみなさん穏やかな新年を迎えられているのではないのでしょうか。とはいえ昨年からインフルエンザが猛威を振るっており体調を崩されている方も多いと思います。感染症との共存にはもうしばらく時間がかかりそうです。

2023年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更されました。これを踏まえ、あおみでは面会を窓越し面会からエレベーターホールでの直接面会に変更いたしました。マスクの着用や人数制限など、まだコロナ禍前のような自由な面会ではありませんが、少しずつご利用者やご家族の方の笑顔を見る機会が増えてきたと感じています。

少しずつ社会は落ち着きを取り戻していますが、世界情勢を見てみるとロシアのウクライナへの侵攻は終わりが見えない状況となっていますし、新たにイスラエルとパレスチナの戦争が勃発するなど世界では悲しい出来事が続いています。戦争による直接の死傷者は日に日に数を増しています。また戦争では多くの難民が生まれ、特に小さな子供たちがつらい思いをすることになります。

難民支援において忘れてはならない人がいます。緒方貞子さんです。名前は聞いたことがあっても何をされた方がご存じない方もいるかもしれません。緒方さんは日本の国際政治学者で日本人初の国連難民高等弁務官を務めました。「小さな巨人」と言われ、とにかくどんな危険なところにも出向く現場主義者でした。「現場感というものがなくて、人は説教できないと思いますよ。現場の感覚がないと本当に、こうしたらどうですか、ああしたらどうですかと提言は出来ません」という言葉からリーダーとして緒方さんが「現場」を大切にしていることが伺えます。この行動力は家系に影響されているのかもしれませんが。実は緒方さんは第29代内閣総理大臣であり五・一五事件で亡くなった犬養毅の孫にあたります。

私自身も昨年のあおみでのコロナ感染症のクラスターを経験し、現場感の大事さを感じました。現場に赴き、実際に状況を自分の目で見て、スタッフとともに何をすべきかを一緒に話し合う。これからも現場主義を意識していこうと思います。みなさん今年もよろしくお願いいたします。

「見てしまったからには、何かをしないとならないでしょう？したくなるでしょう？理屈ではないのです。」緒方貞子

10月30・31日に認知症カフェ開催!

認知症ケア委員会 前田 圭介



認知症カフェとは、利用する方を認知症の方やその家族・友人・地域住民等に限定せず、身近で入りやすい場所で開催し対話することで人と人の繋がりを作り認知症に関する情報を得ることのできる場所と言われていました。

あおみでも認知症の方がその人らしく生活することを目的とするとともに、より多くの人に認知症について理解してもらうための活動の一つとして「認知症カフェ」を開催しました。

今回は施設をご利用中のご家族を対象として2日間で10名のご利用者ご家族がお忙しい中参加してくださいました。

参加されたご家族からは認知症介護での困りごとや工夫していることなどの話をなされたり、ご家族同士でアドバイスをし合う姿が見受けられ、「他の人の話や、職員からの意見が聞けて良かった」との言葉もいただき皆さん笑顔でとても良い雰囲気の会となりました。

今後も定期的に「認知症カフェ」の開催を予定しています。今回参加できなかった方、興味のある方も是非ご参加ください。



日本農村医学会学術総会に参加

介護管理係長 村田 こず恵



令和5年10月19日～20日に秋田県秋田市で開催された第72回日本農村医学会学術総会に参加してきました。この会は厚生農業協同組合連合会が運営する医療施設等で働く会員による、調査研究事例や取り組みを発表する会となっています。

今回、当施設内で昨年起きた新型コロナウイルス感染症の発生から対応・対策について、併設病院である安城更生病院感染制御部の方による発表がありました。発表を聞いて多方面に迷惑と心配をかけたこと、当事者側として大変だったことを思い出しました。この経験を基に今後も感染防止に努めていこうと改めて思いました。また、皆さんもテレビで一度は名前を聞いたことがあるのではと思いますが尾身茂氏による特別講演もありました。

さまざまな講演や発表を聞き新しい気付きや発見がありました。これを現場や業務に活かせるよう努めて参ります。



1階 いもきんとんづくり

介護福祉士 平林 亜美佳

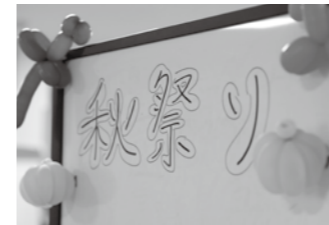


ご利用者に季節を感じて頂くことをテーマに秋の野菜を使用した、いもきんとん作りのレクリエーションを実施しました。この企画のため園芸クラブで夏からさつま芋の苗を植え収穫できるよう、ご利用者とスタッフと一緒に取り組んできました。スタッフと代表利用者二名が前で蒸かしたさつま芋をマッシャーでつぶし、砂糖・バターを入れて味を調える作業を行いました。麻痺のある方でも出来るようサララップを使用しさつま芋を絞ってもらいました。「こんな簡単に作れて美味しいのか。たまにはいいな」や「自分で作れてうれしい」などの感想を聞き、おやつ時間を楽しく過ごしてもらうことができとても印象に残りました。これからもご利用者が楽しめるレクリエーションを行っていきます。



2階 秋祭り

介護福祉士 山田 康祐



長い夏が終わり、2階では「秋祭り」を開催しました。

小規模ではありましたがお祭りの定番である射的や魚釣りゲームを行い、懐かしい雰囲気とお祭りならではの活気を感じました。

感染対策を行いつつ参加者の1人1人が声を上げて喜ぶ顔や腰を上げてゲームに挑む姿が見られました。

また、ゲームの景品である駄菓子を見て「あ、懐かしい!昔よく食べたよ」など皆さんで回想する姿も見られました。

まだまだ制限のある中ですが1人1人が毎日を笑顔で過ごせるように、ケアに臨んでいきたいです。



3階 みんなで踊るうまつケンサンバ

介護福祉士 長内 理沙



3階では久しぶりの行事企画を行いました。敬老会と兼ね、その名も「みんなで踊ろうまつケンサンバ」。近年は新型コロナウイルスの為やむを得ず縮小していた行事企画でしたが、今回のレクリエーションではスタッフがお馴染みの派手な衣装と音楽に合わせ、ご利用者の前で踊りを披露させていただきました。

久しぶりに行った集団レクリエーションであり緊張もありましたが、ご利用者の前で踊るスタッフには皆さんの笑顔が良く見えます。地元愛知の出身、そして馴染みのある音楽にはご利用者の反応もとても良く、スタッフもご利用者の笑顔が見られてとても嬉しく思いました。

寄り添うケアを目指す中レクリエーションは大きな効果をもたらします。今回のようにご利用者に笑顔・刺激を与えられる機会を今後も多く設けられるようにしていきたいと思っています。

